



学校だより

2月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

[た]くましく生きる人 [な]かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

みのたなくん

すごいぞ! 田奈っ子 ～なわとび検定&記録会を終えて～

校長 大原 敦子

1月下旬は10年に一度といわれる寒波の到来で、寒いというより痛い感じでした。そのような中、授業参観やなわとび記録会にご来校いただきましてありがとうございました。

朝学校の門をくぐり、ふと花壇に目をやると、5組が育てているブロッコリーが目に飛び込んできました。小さいながらも完全にブロッコリー。少々話がそれますが、ブロッコリーはしっかりと焦げ目を焼き付けてから水と塩のみでスープにすると、ゆでて食べるブロッコリーと同じものとは思えないほどうまみのあるスープになります。このスープは高校時代の部活動の仲間、今スープ作家として活動している友人から教えてもらったものです。ブロッコリーはビタミン・ミネラルのバランスに優れた冬が旬の野菜です。そんなことを思いながら、毎日ブロッコリーの様子を見ています。



さて、田奈小の子どもたちはこの寒さの中、毎日なわとびに取り組みました。体育委員会の子どもたちは、練習日や検定日の運営をがんばりました。低学年の子どもたちも熱心にチャレンジし「この跳び方が難しいな」「今度は〇級に挑戦するんだ」などと私にも話してくれました。何より嬉しかったのは上手に跳んでいる高学年の子どもたちのそばに行き、跳んでいる様子をじっくりと見たり、質問して教えてもらったりしている低学年の姿でした。全学年が同じ検定の技に毎年取り組んでいるからこそ、こういう姿が見られるのだと思いました。これこそ子どもたちの主体的に学ぼうとする姿そのものだと思います。そしてこの方法は、次の学年になっても続けて自分の伸びが見られるよさがあります。また、単に跳べるだけでなく学年が上がるほど安定感やフォームの美しさが加わり、それが下学年の子どもたちのあこがれとなっていることも、田奈小のなわとびの取組のよさだと感じています。

横浜市が令和4年度から取り組んでいるIRT型の学力・学習状況調査。これは、問題の難しさのレベルを42段階に分け、その物差しを使って単に学年ごとの学力を測るのではなく、一人ひとりの伸びを継続的に見ていくものです。同じスケールの検定に取り組む、個々の伸びを学年を超えて見られる田奈っ子のなわとびのよさと通ずるものがあると思えました。

一人ひとりの成長を様々な場でしっかりと見取っていくこと。この大切さを改めて感じた1月でした。まだまだ寒さが厳しいですが、2月もどうぞよろしく願いいたします。

令和5年度、田奈小学校は150周年を迎えます！

〇田奈小学校150周年記念事業実行委員会ホームページ
右のQRコードから実行委員会HPをご覧ください。

